

2025年7月18日
安田不動産株式会社

報道関係各位

シンガポールにおける物流施設開発事業への参画について

安田不動産株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：安田 守）は、アジア・パシフィックエリアを代表する物流施設開発・運用会社である ESR グループ（本社所在地：香港、Co-CEO：Jeffrey Shen, Stuart Gibson）が推進する、シンガポールにおける大型物流施設の開発事業（以下「本事業」）へ参画したことをお知らせいたします。なお、本事業は、当社にとって 5 件目の海外事業で、初の海外物流施設事業への参画となります。



竣工イメージ図

シンガポールの港は、中国・上海に次ぐ、世界第 2 位のコンテナ取扱量と高い効率性を有し、東南アジアの物流ハブとして機能しています。現在、政府主導で港の開発事業（トゥアス・メガポート）が推進されており、2040 年までに順次開港、最終的にはコンテナ取扱量が現行の約 2 倍に増加し、世界最先端のハブ港となる計画がされていることから、今後同国の物流施設は更なる需要の高まりが期待されています。

本事業は、シンガポール西部のトゥアス港と現行国内最大の港であるパシルパンジョン港の両港、マレーシア連絡橋に

もアクセスが良い戦略的ロケーションに開発される大規模かつ先進的な物流施設です。71,630 m²の敷地に、合計延床面積が 143,260 m²の最新スペックの倉庫棟と自動コンテナデポ棟が建設され、竣工は 2027 年を予定しております。

なお、本事業は、アンカーテナントとして世界を代表する物流事業者の CEVA Logistics およびシンガポールの大手コンテナ輸送・コンテナヤード運営事業者である Allied Container Group の 2 社が入居予定となっております。

当社としては、アジア・パシフィックエリアを中心に物流施設事業に関する豊富な経験と幅広いネットワークを有する ESR グループの先進的なプロジェクトへの参画を通じ、海外における不動産事業に関する知見を拡充するとともに、持続的な事業機会の創出を目指して参ります。

■本事業の概要

計 画 地：シンガポール、サンビューウェイ

敷 地 面 積：71,630 m²

物 件 規 模：倉庫棟 6 階建 延床面積 98,698 m²

コンテナデポ棟 2 階建 延床面積 44,562 m²

竣 工 予 定：2027 年

<リリースに関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 経営企画部 藤岡(ふじおか)

TEL 03-5259-0517 FAX 03-5259-0532

<本プロジェクトに関するお問い合わせ先>

安田不動産株式会社 海外事業室 西川(にしかわ)・森(もり)

TEL 03-5259-0540 FAX 03-5259-0533